

1. 研究課題名： 人口減少、気候変動下におけるグリーンインフラ  
ー生物多様性・防災・社会的価値評価

2. 研究代表者氏名及び所属：中村 太士  
(北海道大学 大学院農学研究院)



3. 研究実施期間：平成 27-29 年度

#### 4. 研究の趣旨・概要

地震・津波・温暖化に伴う気候変動、人口減少や社会資本の老朽化等、日本は多くの難題を抱えているが、人口減少に伴う土地利用の変化を先取りし、洪水や津波危険地からヒトが撤退することができれば、放棄された土地に自然生態系を再生し、豪雨時や地震時のグリーンインフラストラクチャー (GI) として利用することが可能になる。

本研究では、将来の人口減少や土地利用変化を予測し、農地 (北海道)、都市 (静岡)、海岸低地 (徳島) 景観において、GI の生物多様性保全機能と防災機能を自然科学ならびに環境経済学の視点から評価する。また、GI を再生するための地域合意と住民も参加するモニタリング手法を開発し、海外先進事例も参考にしながら、全国に適用できる手法を提供する。

#### 5. 研究項目及び実施体制

- ① 農地景観における GI：生物多様性と環境経済評価に着目して  
(国立大学法人 北海道大学)
- ② 都市景観における GI：地域医療と都市住民参加による協働をめざして  
(学校法人 東邦大学)
- ③ 海岸低平地景観における GI：津波・洪水氾濫に耐えられる海岸林、水田の応用生態工学的評価 (国立大学法人 徳島大学)

6. 研究のイメージ

